事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0010/0000	00/00/	03	事業の類型	4	
年度	20 事務事業名	市民対話事業		作成日			重要度	5
予算	事業名	市民対話事業		担当課名	企画広報課		企画広報 課	
政策	名	計画推進のため	に	ᆲᄍᄑ			正凹凸拟床	
施策			づくり	実施計画への	記載	無	主要事業の指定	無
根拠	根拠法規及び関連法規							
事業	誰のために(具体 事)的に) 全市民(各種団		本を含む)					
業 の 誰(何)を対象として全市民(各種団体を含む)								
的			からの陳情・要望等を受 せービスを展開する。	付け、住民の市	政に対す	するニ-	- ズを把握するこ	とによ

2 事業の概要 Dο

	実施の概要	原則、小学校区単位で、市長以下市幹部が地元に出向き、市政について意見交換を実施。また、市民からの申し込みがあった場合や重要な施策展開を行う場合に実施する。						
`~	項目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度計画		
活 動	コスモストーク	回数	2	21	8	8		
実								
績								

3 投入	資源	会計区分	一般会計					事業費	単位∶円
インプット	指標	18年度決算	19年度決算	前年比	20年度決算	前年比	21年度予算	前年比	備考
	課長以上職員	0.083	0.084	101.2	0.083	98.8	0.084	101.2	
人員	主幹以下職員	0.030	0.070	233.3	0.070	100.0	0.070	100.0	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
古出内	人件費	971,574	1,339,954	137.9	1,295,298	96.7	1,308,384	101.0	
支出内 訳	事業費	0	0	_	0	-	0	-	
н	合計	971,574	1,339,954	137.9	1,295,298	96.7	1,308,384	101.0	
	国庫支出金	0	0	_	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	_	0	I	0	-	
財源内	市債	0	0	_	0	ı	0	-	
訳	その他	0	0	_	0	-	0	_	
	一般財源	971,574	1,339,954	137.9	1,295,298	96.7	1,308,384	101.0	
	合計	971,574	1,339,954	137.9	1,295,298	96.7	1,308,384	101.0	

4 評価指標

<u>【有効性】</u>									
指標名1		コスモストーク開催回数							
指標説明	(武)	年間開催回数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	目標	10	21	210.0	8	38.1	8	100.0	
	実績	2	21	1050.0	8	38.1			
						00.1			
指標名2		コスモストーク出り		,					
指標名2 指標説明		コスモストーク出り年間出席者数							
	(式)			前年比	20年度		21年度(計画)	前年比	備考
指標説明	(式)	年間出席者数	常者数	前年比		前年比	,21年度(計画)		備考

【効率性】

1793 1-1-1	770 [2]								
指標名1		開催コスト(人件質	費相当額)						
指標説明	(式)	開催費用(人件費	閏相当額) ÷ 開催	崖回数					
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	464,292	55,520	12.0	140.747	253.5	142,308	101.1	
IJ	大限	404,232	33,320	12.0	140,747	200.0	142,000	101.1	
指標名2	大 模	404,292	33,320	12.0	140,747	200.0	142,000	101.1	
		404,232	00,020	12.0	140,747	200.0	142,000	101.1	
指標名2	(尤)	18年度		前年比	- /		21年度(計画)		備考

5 事業の評価(20年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
		市長等が直接出向き、市民との率直な市政に関する意見交換ができ、その実施 の必要性は高い。	4	4
Λ <u>Ι</u> Ι			·	·
	成果目標(改 善)達成度	市民が普段気になっていること等、直接対話の上理解が可能。	3	3
	市民サービス	市長等との直接対話ができ、行政幹部の考え方等が分かる。	3	3
効率性	手段の最適性	自治会を単位として実施することにより、それぞれの身近な問題について協議で きる。	4	3
,			7	J

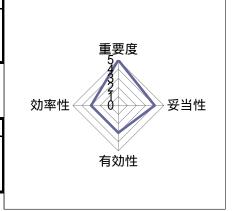
6 課題として認識された点

ľ	評価視点	具体的な評価観点	内容
	有効性	成果目標(改 善)達成度	対話を行い理解が深まるとしても、その場で解決できる事は限られ、また、全市民を対象としていても参加者が限られている。

7 事業の改革改善 Action

(1)評価結果を踏まえた21年度の改革改善内容

評価視点 具作	本的な評価観点	内容	
		コスモストークに対する積極的なPRと結果 行う。	具についてのフィードバックを
H20 H21	予算反映額	0	



(2)ヒアリング時指摘事項

検討の有無	-
総合指標	22